

(4) どうして、書きだした文が、大事だと思ったのですか、そのわけをかいてください。

()

(5) ⑤だんらくのはじめの文で、「葉を合わせてしまいます。」とありますが、「葉を合わせる」のは、なんですか。

()

テスト3

つぎの文章をよみ、あとの問いに、こたえなさい。

① 西洋のむかしばなしには、よく、ふしぎな力を持っている小人が出てきて、こまっている人を助けたり、人間のみかたになったりします。これが、日本のむかしばなしとちがうことの一つです。みなさんがよく知っている「白雪ひめ」では、七人の小人が、二度も、わるいおきさきころされた白雪ひめを、生きかえらせています。また、ひとばんで、くつを作りあげて、くつ屋を助ける小人の話もあります。「竹馬ガタ助」というグリムの童話では、ワラを金にかえる小人も出てきます。でも、中には、人にいたずらをする、わるい小人もいます。

問1 前の文しょうの中から、大事な文(まとめたのべている文)をひとつえらび——線をひきなさい。

② 池や田んぼのちかくで、黒っぽい地面の上で、小さな、黒っぽい色をした、かえるを見つけることがあります。また、茶色っぽいかれ葉の上にやはり、小さな、茶色っぽい色をしたかえるを見つけることがあります。また、みどりの草のかげに、みどり色の、やはり小さなかえるを見つけることがあります。ところが、これらのかえるは、色はちがっていても、同じあまがえ

るなのです。あまがえるは、自分のからだの色を、まわりの色にあわせて、ほかの動物に見つかりにくくしているのです。

問2 前の文しょうの中から、大事な文をひとつえらび——線をひきなさい。

③ チャイムが、学校中に、きれいな音をひびかせています。一時間目のじよぎょうが終わったことを、チャイムの音で知らせているのです。きりのこい夜、とう台では、同じ調子のサイレンを、くりかえし、ならしています。サイレンの音でおき走る船に、とう台のあることを知らせているのです。このように、人に何かを知らせるのに、音であいずをすることがたくさんあります。電話のベルも音によって知らせています。げんかんのブザーも、音によって、おきやくさんのきたのを、知らせているのです。

問3 前の文しょうの中から、大事な文をひとつえらび——線をひきなさい。

テスト4

1. 次の文章の中の「あれは」と「それは」は、何をさしていますか。

雲の上で、風の子どもたちが遊んでいました。風の子のひとりが、雲の下をのぞいてみました。下の町のあちらこちらに、いままで見たことのないものが、立っていました。

「おや、あれは何だろう。行ってみよう。」

風の子は、ひとりで雲からおりて行きました。おりてみると、それはこいのぼりでした。

○答え ()

2. 次の文の——をひいたことばは、なにをさしているでしょう。

むこうのほうに池が見えました。ごんべえがもは、そこにおいてやすもうとおもいました。そのとき、ごんべえがもは、なにか、ぐっと、ひっぱられるような気がしました。